

# 平成29年度当初予算の概要

岐阜県 池田町



池田町マスコットキャラクター  
ちやちやまる

## 1. 当初予算規模

### 当初予算額(案)

	平成 29 年度	平成 28 年度
一般会計	81億92百万円	90億70百万円 (対前年 9.7%減)
特別会計	46億 6百万円	50億40百万円 (対前年 8.6%減)
計	127億98百万円	141億10百万円 (対前年 9.3%減)

\*平成29年度当初予算の概要(計数編)9ページ参照

一般会計当初予算額は、81億9,200万円で前年度比8億7,800万円減(△9.7%)となり、5年ぶりに減額となります。

特別会計(上水道除く。)を含む全会計当初予算総額は、127億9,800万円で前年度比13億1,200万円減(△9.3%)となり、9年ぶりに減額となります。

減額となった要因としては、(仮称)池田町大野町学校給食センター建設事業の完了や簡易水道事業を上水道事業に統合することなどであります。

歳入については、景気の持ち直しを反映して、町民税が増加したものの、町内企業の償却資産の減少により固定資産税が減少する見込みであり、町税全体としては1,716万円の減額となっています。また、(仮称)池田町大野町学校給食センター建設事業の完了により、国庫補助金で1億9,909万円、分担金及び負担金で5億535万円、町債で3億9,370万円の減額となっています。

また、ふるさと納税については、前年度実績を反映して3億円の増となっています。

歳出については、(仮称)池田町大野町学校給食センター建設事業の完了により、建設事業費は、12億5,686万円の減少、また、工場等設置奨励金等の減少により補助金が1億158万円の減少となっています。

その一方で、養老鉄道への負担金や池田町大野町学校給食センター協議会への負担金などにより、負担金が1億2,471万円の増加、また(仮称)池田町大野町学校給食センターの備品購入により1億3,873万円の増加、ふるさと納税の委託業務の1億557万円の増加、ふるさと納税の積立金により5,768万円の増加となっています。

繰出金については、公共下水道の浄化センターにある水処理施設を増設したことなどにより、3,947万円の増加となっています。

## 2. 平成29年度の施策方針

平成29年度は、養老鉄道が新しい運営形態に移行することに伴って町の負担が増える見込みであるものの、地方創生総合戦略等に基づいて、町の活性化に資する事業を積極的に展開していく方針です。

特に今年度は、移住定住対策に重点を置き、町内の空き家を取得して居住する方には、5年間固定資産税を免除するほか、改修費の一部を助成するとともに、居住者の中に子どもがいる場合は、1人につき2万円の加算を行います。なお、宮地地区にあつては、空き家だけでなく新築による居住であっても固定資産税の免除を行うなどの優遇措置を設けることとします。

町内の主な動きとして、前年度に建設した（仮称）池田町大野町学校給食センターが平成29年9月から運用を開始し、池田町及び大野町の小中学校及び公立保育園の児童等に給食を提供することとなります。

また、養老鉄道は上述のとおり新しい形態での鉄道運営が平成29年中に開始される予定であり、池田町としては第三種鉄道事業者となる（一社）養老線管理機構の運営を支援することなどで、養老鉄道の活性化に取り組んでいきます。

地方創生については、昨年度に採択された大津谷公園バーベキューハウス整備計画及び池田町子育て・就労支援センター整備計画を推進していくほか、昨年度開設した「霞溪舎（かけいしゃ）」（池野駅駅舎）を活用して、まちづくり事業や移住定住推進事業を推進していきます。

水道事業については、北部簡易水道と南部簡易水道を上水道に一元化し、一体的、効率的な事業運営を進めていきます。

観光については、昨年度に引き続き霞間ヶ溪公園の周辺整備として花畑植栽工事やトイレ改修工事を行うほか、池田まるっと体験交流ツアー事業としてレンタサイクルを活用した体験ツアーを企画・実施していきます。また、池田温泉においては、利用者数1000万人を達成する見込みであり、これを記念したイベントを実施して、さらなる利用者増を図っていきます。

学校教育については、老朽化した池田中学校校舎の大規模改修を平成29年度から3年かけて実施していきます。また、中高生海外派遣事業や外国語活動支援講師等の派遣は継続して実施します。

スポーツ振興では、バドミントン日本リーグ池田大会の開催を予定しています。日本のトップ選手が所属するチームを招聘することで、町民のスポーツに対する関心・熱意を高める機会としていきます。

### 3. 主な歳入歳出科目

#### 歳入

名称	平成 29 年度	平成 28 年度	比較
町税	29 億 597 万円	29 億 2,313 万円	△1,716 万円
うち町民税	12 億 574 万円	11 億 9,509 万円	1,065 万円
うち固定資産税	15 億 1,787 万円	15 億 4,365 万円	△2,578 万円
分担金及び負担金	2 億 2,052 万円	7 億 2,587 万円	△5 億 535 万円
国庫支出金	6 億 787 万円	8 億 5,026 万円	△2 億 4,239 万円
寄附金	5 億 367 万円	2 億 267 万円	3 億 100 万円
うちふるさと支援まちづくり寄附金	5 億 万円	2 億 万円	3 億 万円
町債	5 億 1,990 万円	9 億 1,360 万円	△3 億 9,370 万円
合計	81 億 9,200 万円	90 億 7,000 万円	△8 億 7,800 万円

#### 歳出

名称	平成 29 年度	平成 28 年度	比較
人件費	11 億 1,035 万円	11 億 36 万円	999 万円
扶助費	9 億 9,584 万円	9 億 6,619 万円	2,965 万円
負担金補助及び交付金	19 億 1,366 万円	19 億 5,582 万円	△4,216 万円
うち負担金	15 億 4,898 万円	14 億 2,427 万円	1 億 2,471 万円
うち補助金	3 億 124 万円	4 億 82 万円	9,958 万円
委託料	10 億 3,558 万円	9 億 3,001 万円	1 億 557 万円
普通建設事業	3 億 9,005 万円	16 億 4,691 万円	△12 億 5,686 万円
備品購入費	1 億 8,822 万円	4,949 万円	1 億 3,873 万円
公債費	6 億 9,483 万円	6 億 7,171 万円	2,312 万円
積立金	1 億 5,470 万円	9,702 万円	5,768 万円
繰出金	7 億 5,689 万円	7 億 1,742 万円	3,947 万円
合計	81 億 9,200 万円	90 億 7,000 万円	△8 億 7,800 万円

### 4. 主要事業

☆…新規 ◎…拡充 ○…継続

#### (1) 活力あるまちづくり 【10,925 千円】

##### ☆100歳まで働ける「BABAラボ岐阜池田」創出事業 【3,600 千円】(地方創生)

昨年度、企業・団体を対象にアイデアコンペを実施し、選定されたラッキー工業(株)の提案事業をサポートする。雇用の場(孫育てグッズを製作する「BABAラボ岐阜池田」)を創出したなかで、単なる雇用の場にとどまらず、お年寄りが生きがいをもって活躍し、地域の人と繋がれる場、子育て支援、学びの場づくりを進める。

☆Uターン・Iターン支援事業 【2,500 千円】

子育て世代の移住・定住を増やし、併せて町内にある空き家の縮減を図るため、空家バンク登録の家屋を取得し、改修を行う費用の一部を助成するほか、固定資産税の免除を行う。宮地地区においては、空き家だけでなく新築による居住であっても固定資産税の免除を行う。

◎移住定住促進事業 【1,335 千円】(地方創生)

町内への移住を推進するため、日帰りバスツアーを企画、開催する。また空家バンクを運用していくために、バンク登録候補となる家屋を調査し、図面等の詳細な情報を把握してバンク登録を行う。

さらに、東京等において開催される移住促進関連イベントに出席し、PRを行う。

◎町民と役場をつなぐ「まちづくり工房」プロジェクト 【2,223 千円】(地方創生)

まちづくりを実施するトータルコーディネーターを確保・育成するとともに、養老鉄道池野駅の駅舎を活用し、まちづくり拠点「まちづくり工房(霞溪舎)」を整備した。

まちづくり工房には、トータルコーディネーターの事務局、まちづくり活動団体が集えるコミュニティスペースを設け、指定管理者制度を導入し、効果的かつ効率的な管理運営の推進および自立する仕組みづくりを進める。

指定管理者(トータルコーディネーター)は、まちづくり工房の運営管理・利用促進、まちづくり事業、地域振興事業、移住定住促進事業、レンタサイクル運営事業等に関して推進する。

○町の人財を活かした地域コミュニティの活性化事業 【727 千円】(地方創生)

池田町内のいろいろな技術、能力を持った達人を発掘し、その方々から学び体験するプログラム・講座を開催することで学校・職場・自治会以外の人とつながる機会をつくり、多世代間交流が行えるようにする。

○若者コミュニティの活性化事業 【540 千円】(地方創生)

町役場職員・町民メンバーで「同窓会応援実行委員会」を運営し、若者が気軽に集まれる同窓会・イベントの開催を支援し、コミュニティの活性化を図るとともに異性と話す機会や結婚を考える機会をつくることで結婚へつながるようにサポートする。

(2)観光関連事業 【37,815 千円】

☆山麓修景整備事業 【23,000 千円】

四季を楽しめるように霞間ヶ溪に花畑を整備し、山麓の自然と眺望を活かした環境を整える。

☆霞間ヶ溪公園トイレ改修工事 【12,000 千円】

霞間ヶ溪公園利用者の利便性を上げるために、トイレ改修を行う。

◎池田・揖斐川レンタサイクル推進協議会負担金 【738 千円】(地方創生)

揖斐川町と設立したレンタサイクル推進協議会において、レンタサイクルの整備及びナビアプリの開発、PRイベントを開催しそれに伴う事業費の負担を行う。

養老鉄道はサイクルトレインとして、自転車に乗ったまま乗降することが可能であるという特徴を活かし、鉄道と自転車を利用しながら沿線市町の観光スポットを周遊する仕組みをつくり、観光客増を目指す。

経済波及効果を生むために、観光スポットや飲食店、特産品店を案内する養老鉄道沿線市町サイクリング専用のナビアプリを開発した。また、サイクルトレインとしてのブランドイメージを確立するためのPRイベントを開催する。

○町マスコットキャラクター「ちゃちゃまる」事業 【737 千円】

住民に周知されてきた町のマスコットキャラクター「ちゃちゃまる」を活用し、更なる池田町のPRを行う。また11月に三重県桑名市で行われる「ゆるキャラグランプリ」にエントリーし、広く全国にもPRを行う。

◎池田まるっと体験交流ツアー創出プロジェクト 【692 千円】(地方創生)

池田山麓付近を中心とした自転車で巡る体験・交流ツアーを設定し募集していく。また、池野駅駅舎「まちづくり工房」と「道の駅 池田温泉」にレンタサイクルを各5台配置して池田町を周遊し、満喫してもらう。

○町民による池田の魅力発信事業 【648 千円】(地方創生)

池田町民に編集委員会・町民特派員の募集を行い、池田町の情報冊子を編集、作成してもらい、町民自身が池田町の魅力や良さに改めて気づく再発見を図る。

(3)教育関連事業 【288,562 千円】

☆(仮称)池田町大野町学校給食センター施設整備事業 【137,006 千円】

(仮称)池田町大野町学校給食センターの9月運用開始を目指し、施設で使用する調理用備品、施設用備品並びに給食配送車5台を購入し、8月下旬に総合試運転を実施する。

☆池田町大野町学校給食センター協議会運営費 【90,475 千円】

新しく設置された池田町大野町学校給食センター協議会へ負担金を支出し、池田町及び大野町内で給食事業を行う。

○特別支援教育支援事業 【22,291 千円】

学習や学校生活において特別な支援を必要とする児童生徒が在籍する学級に対して、指導助手として、特別支援学級に支援員、通常学級にアシスタントを町独自で配置し、誰もが安心して学べる環境を整える。

支援員 配置校:温知小5人、八幡小1人、池田小1人、池田中1人

アシスタント 配置校:温知小3人、八幡小2人、宮地小3人、池田小2人

特別教育支援アドバイザー:1人

○外国語活動推進事業 【15,190 千円】

ALT (Assistant Language Teacher) のほか、町独自に講師を4人配置し、小中学校における英語授業の充実を図る。

○少人数学級指導支援事業 【9,388 千円】

一定数以上(30人以上)の学級を対象に、町単独で講師を配置し、学習集団を1学級増やして、よりきめ細やかな少人数指導を行う。

対象校:温知小4人、八幡小4人

◎池田町版体験キャリア教育の深化プロジェクト 【5,912 千円】(地方創生)

キャリア教育コーディネーター2名が、池田町の教育について現場教師とともに新たな職場体験のあり方や企業展について考え、子ども達が地元でいきいきと働く大人に触れる仕組みを作り、地元を知る喜びや町への愛着を育むことを目指す。

また未来の池田町をになう中学生と池田高校生に対して英検や漢検等の資格取得に対して助成を行うことで学生の社会で活躍する土台形成を図る。

☆バドミントン日本リーグ池田大会事業費 【5,400 千円】

バドミントン日本リーグ池田大会を開催し、日本1部リーグに所属するチームを招聘し、一流選手の競技に身近に触れてもらうことで競技人口の拡大、競技力の向上につなげる。

○海外派遣事業 【2,900 千円】

中高連携した外国語活動の一環として中学生10人、高校生5人をニュージーランドへ派遣し、ホームステイや福祉施設訪問を行い、グローバルな人材を育てる。

(4)生活基盤関連事業 【354,360 千円】

◎養老鉄道存続支援事業 【68,858 千円】

沿線市町と協調し、養老鉄道存続に向け補助金の交付や利用促進を図る。また、新たに設置される養老線管理機構に補助金の交付を行う。

○コミュニティバス運行事業 【19,956 千円】

町内の安全な住民移動手段確保のため、巡回線、北回り線、南回り線、役場～市橋線を運行する。

○福祉医療扶助事業 【118,755 千円】

子どもの医療費を無料化にすることで、子どもを持つ世帯は平等に医者にかかることができ、子どもの病気の重篤化を防ぐことができる。

	対象(人)	予算額(千円)
乳幼児扶助	1,127	46,255
児童・生徒扶助	2,132	53,135
高校生等扶助	777	19,365

○病児・病後児保育事業 【6,570 千円】

子どもが病気にも関わらず、仕事や冠婚葬祭等により家庭で看護ができない保護者に代わり、一時的に「病児・病後児保育施設 ひまわり」において児童を預かる。

なお、3人以上子どもがいる世帯の利用は無料としている。 対象人員 115 名

○放課後児童クラブ事業 【23,959 千円】

仕事などの事情により、昼間保護者が家庭にいない小学生の児童に対し、放課後や長期休暇中、保護者に代わって行う保育で、対象を小学校6年生までとする。

利用予定者数:119 人

○防災拠点整備事業 【11,679 千円】

地域の防災拠点に防災備蓄倉庫、備蓄用非常食・保存水・防災備品(パック毛布・仮設トイレ)整備を行う。

○緊急通報装置設置事業 【785 千円】

75歳以上の独居高齢者等に使用している緊急通報装置を設置する。

○町有施設灯 LED 照明修繕事業 【5,640 千円】

町有施設灯の老朽化、マイマイガ対策として LED 照明に切り替え、及び池田町有線放送の廃業に伴う電柱の建替を行う。

○自治会防犯灯 LED 照明切替事業 【2,678 千円】

自治会所有の防犯灯の老朽化、マイマイガ対策として LED 照明の切替に対し補助する。(平成 29 年度までの整備について、補助率を 3/10 から 7/10 に拡充)

◎(仮称)池田町南部リサイクルセンター建設事業 【6,480 千円】

(仮称)池田町南部リサイクルセンターの実施設計を行う。

○社会資本整備総合交付金事業 地域基盤整備工事 【37,500 千円】

池野杉野線・道路整備	15,000 千円
舟子1号線、小寺池野線・舗装修繕	16,500 千円
橋梁修繕	6,000 千円

○道路改良工事 【21,000 千円】

いこいの森	栄町地内	7,000 千円
下東野 10 号線	下東野地内	3,000 千円
下八幡 30 号線	下八幡地内	1,500 千円
六之井 46 号線	六之井地内	1,500 千円
片山北 3 号線	片山北地内	3,000 千円
萩原 36 号線	萩原地内	5,000 千円

◎都市再生整備計画事業(願成寺地内) 【18,000 千円】

舟子1号線の危険箇所を改修し、交通の安全を図る。

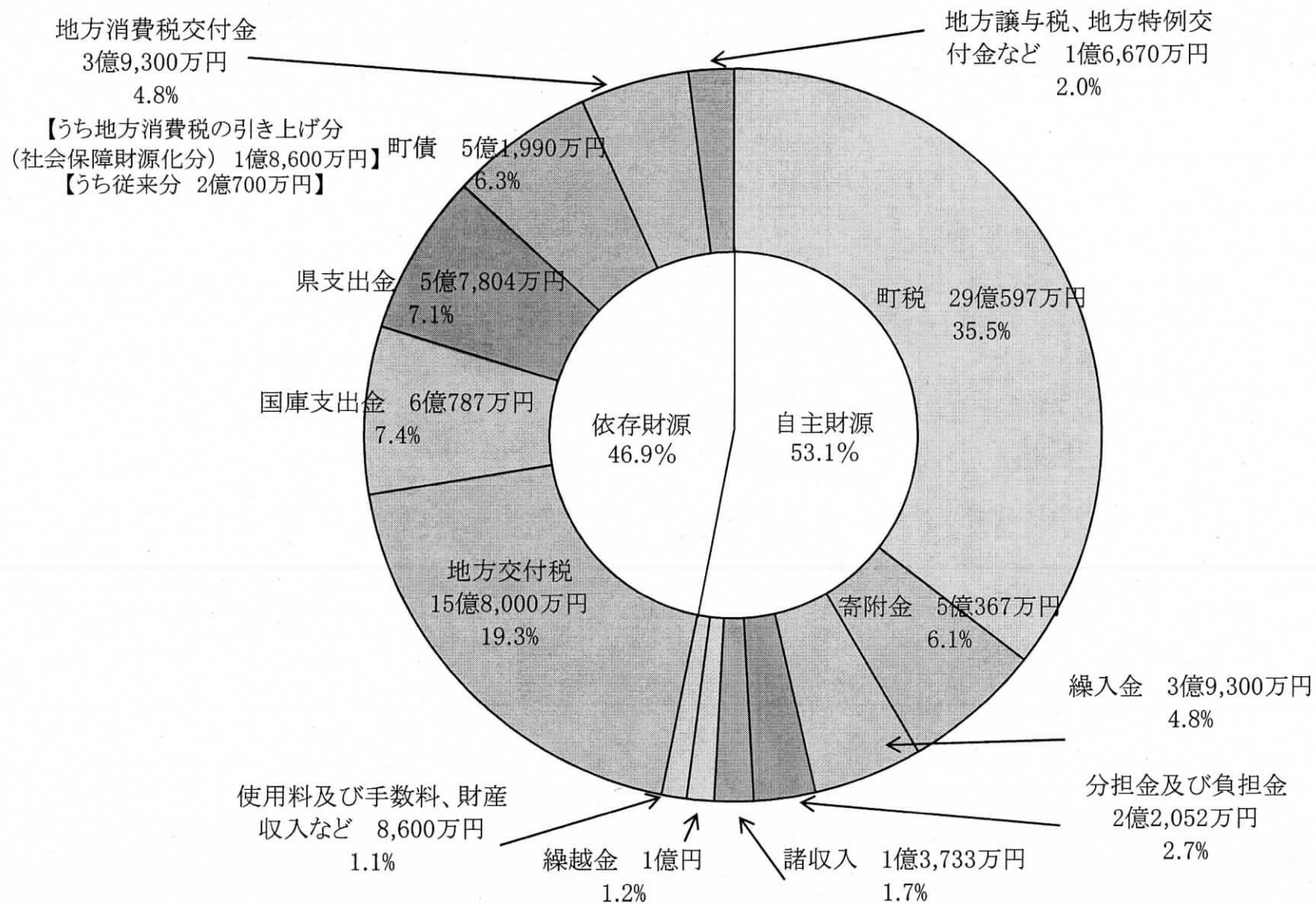
L=240m、W=6.5m

○橋梁維持修繕 【12,500 千円】

道路法施行令の改正に基づき橋梁点検を行い、橋梁塗装5橋、自主点検を51橋行う。



# 平成29年度一般会計歳入構成表(予算総額81億9,200万円)



# 平成29年度一般会計歳出款別構成表(予算総額81億9,200万円)

